



2018年10月30日

各位

会社名 株式会社タケエイ  
 代表者名 代表取締役社長 山口 仁司  
 (コード: 2151 東証第1部)  
 問合せ先 取締役常務執行役員 阿部 光男  
 (TEL 03-6361-6871)

特別損失の計上及び第2四半期連結業績予想と実績値との差異  
 並びに通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

平成30年5月14日に開示した平成31年3月期第2四半期の業績予想と本日公表の実績値との間に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

また、第2四半期の実績と最近の業績動向を踏まえ、平成31年3月期の通期業績予想を以下の通り修正いたしますので、併せてお知らせいたします。

## 記

## 1. 特別損失の計上

当社の連結子会社である富士車輛株式会社について、機械式立体駐車場関連損失645百万円を特別損失として平成31年3月期第2四半期に計上いたします。第1四半期の計上分200百万円と併せ、機械式立体駐車場関連損失は合計で845百万円を見込んでおります。(本日付の「当社子会社(富士車輛株)販売の機械式立体駐車場の補修工事に要する費用について」をご参照ください。)

## 2. 第2四半期(累計)連結業績予想数値と実績値との差異(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 四半期純利益	1株あたり 四半期純利益
	単位:百万円	単位:百万円	単位:百万円	単位:百万円	円 銭
前回発表予想(A)	15,800	1,250	1,170	630	26.95
実績値(B)	15,243	736	489	△ 518	△ 22.32
増減額(B-A)	△ 557	△ 514	△ 681	△ 1,148	
増減率(単位:%)	△ 3.5%	△ 41.1%	△ 58.2%	-	
ご参考:前期第2四半期実績 (平成30年3月期第2四半期)	14,700	1,084	1,000	530	22.53

## 3. 通期連結業績予想数値の修正(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株あたり 当期純利益
	単位:百万円	単位:百万円	単位:百万円	単位:百万円	円 銭
前回発表予想(A)	33,500	2,800	2,650	1,500	64.18
今回修正予想(B)	32,400	2,000	1,700	180	7.78
増減額(B-A)	△ 1,100	△ 800	△ 950	△ 1,320	
増減率(単位:%)	△ 3.3%	△ 28.6%	△ 35.8%	△ 88.0%	
ご参考:前期実績 (平成30年3月期)	31,084	2,402	2,292	1,356	57.72

#### 4. 業績予想との差異及び修正の理由

##### (1)第2四半期(累計)連結業績予想数値と実績値との差異の理由

首都圏再開発事業及びオリンピック関連の引き合いにより依然売上高は堅調に推移しているものの、中国による廃棄プラスチック等の輸入が停止されたことに伴い委託処理費が急騰し、さらに、グループ会社において貸倒引当金繰入、また、「1. 特別損失の計上」に記載の通り、機械式立体駐車場関連損失を計上したことから、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益をそれぞれ修正することといたしました。

##### (2)通期連結業績予想数値の修正の理由

第3四半期以降の業績見通しにつきましては、築地市場の移転に関連したプロジェクト及び福島県双葉郡葛尾村広域処理における収集運搬業務等が開始いたしますが、グループ会社売上の動向も加味し、さらに、委託処理費の高騰が継続すること及び第2四半期(累計)の業績見通しを踏まえ、通期予想につきましても修正することといたしました。

なお、この度の業績予想修正に伴う配当予想の修正はありません。

以上